

△討論要旨▽

※中田報告について

討論は大きくわけて、概念の意味内容に関するものと、環境問題と農業経済性との関係という二つの論点を中心に展開された。

まず、「環境」の定義に関して、ヒューマン・エコロジー概念とのかかわりを問う質問が河村会員からなされた。中田会員は、次のように答えている。ヒューマン・エコロジーという言葉は、ギャルピンの時代に適用されるような、伝統的なヒューマン・エコロジーという意味である。それが現代のように社会的背景も変化し、したがってその概念の適用場面も全く違ってきた時、もっとバイオフィジカルな側面で環境という言葉を使うようになってきたのである。

次に藤井(勝)会員が、「地域共同管理」という概念は、「総有」、「本源的所有」、「共同的記憶」という概念に対応する概念なのかという疑問を呈した。中田会員の答えは、次のようである。地域共

同管理というのは、自覚的に私的のもつマイナスイ面を修正していくという文脈で用いられる概念であり、法律・協定・計画といった問題処理型の対応に、皆の合意ができた限りで進んで行くことが重要となる。そういった修正は、総有だとか本源的の所有だとか、言葉の上で言うだけでは実現化されないものである。

松本会員からは、「環境保全」という言葉によって意味されるところが問われた。つまり、環境保全という言葉は、住民の総意をもって地域資源を生かし、地域活性化をはかるということとかかわらせて考えてみた場合、地域資源を生かすということに対抗しうる概念であるかという問題である。例えば四万十川流域では、環境保全を通してその環境を見直し、地域活性化をはかるということが試みられているが、そういった役割を環境保全という言葉に同時にもたせるといふことが必要となる。それに答えて中田会員は、地域活性化が環境保全と矛盾しないならば、やってみていくべきであると述べている。ただし、その接点の問題となってくる。その規準いかんでは、活性化は開発を意味してしまうからである。規準に関しては、生態系が維持できているのかというバイオフィジカルな条件による、客観的な自然科学的規準が立ちうると提案している。

この議論をうけて北原会員は、この問題は自然環境を保全する主体のレベルが国・自治体・住民というように重層的であるという問題と交差すると述べる。政策主体・運動主体の理念あるいは方向によって、地域資源の生かし方も決まってくるのである。

さてここで、第二の論点が西村会員から提起される。それは、農業の生き残りという問題を考える際に環境というタームをインプットした場合、経営コスト等の問題というよりも農法・農業技術の転

換が必要となると思われるが、その時にあるべき農業の技術体系とはどういったものか、というものである。中田会員は、基本的には環境保全というのは物質循環を成り立たせることであり、その点から言うと、有機農法などが典型となると回答した。さらに、自給型の農業を奨励するという方向もあるが、辻井会員の第一報告にあったように大規模化と有機化が矛盾しないならば、それは好ましいことであると述べている。

これに対して河村会員から、アメリカの一九九〇年の農業法で言われたLISA (Low Input Sustainable Agriculture) を例に引いて疑問が投げかけられた。大規模農業に対して小農の生き残れる道としては、消費者の需要に対応した有機農業とエスニック・フーズとが認識されている。そういった中でLISAの重要性は、有機農業およびエスニック・フーズの栽培が労働集約的であるから小農でないとできないという仮説をLISAが潰そうとしている点にあるという。この価値の転換に伴い疑問点がでてくるのである。つまり、むやみに大規模化して農業経済の発展をはかり、そのリアクションとして環境という考え方ができ、有機農業といった農法の転換があったのだが、それが今までの伝統的な経済発展の概念のあり方に一致する形となるというのである。すなわち、北原会員の述べる有機農法の商品化という問題である。

ただ、一般化する技術なのかという疑問が残る。辻井会員によれば、日本の最先端の農家の事例をみると、農業経営者の企業者能力にもよるが、商品の差別化により得られる高利益と、有機・低農薬という消費者の利益との両立により成り立っているようである。しかし、そのような農家がコストや価格を第一の問題としている場合

消費者の嗜好の変化により再び技術が変わったり、環境がドロップ・アウトしてしまう危惧があることが西村会員から指摘された。価格論とか労働生産性という問題に、環境という要素は落とせないという発想がどうかかわってくるのかという点が今後の課題となろう。

(文責 藤井和佐)

(注) 辻井報告についての討論要旨は、次号において掲載します。

(事務局)